医療福祉学研究科

保健医療学専攻（博士）

ディプロマ・ポリシー

1.国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを充分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を涵養できている。
2.医療福祉分野において明確に目的意識を持ち、専門職業人としての使命感、倫理観など医療プロフェッショナリズムを備え、専門分野での研究や臨床を実践できる。
3.専門分野における幅広い知識、技能と判断力を修得し、専門職業人としての論理的思考や深い学識を養い、卓越した教育、研究あるいは臨床能力を十分に発揮できる。
4.実践家あるいは教育・研究者としての自立性を確立でき、優れた実践能力やコミュニケーション能力と国際性を培い、指導的立場で活躍できる。
5.（看護学分野 管理実践看護学領域のみ）複雑化する保健医療福祉の課題を分析し、解決策を提案ならびに、政策提言を行うことができる。
6.所属分野が特定の修了要件を要求する場合、それを満たしている。
7.修士および博士課程の修了要件として、①大学院学則に定める修業年限以上在学し、②授業科目について所定の単位以上を修得し、③必要な研究指導を受けた上で、修士課程においては修士論文の作成または課題研究を行い、修士論文審査（または課題研究成果の審査）および所定の試験に合格した者、博士課程においては博士学位論文の作成を行い、博士学位論文審査および所定の試験に合格した者を修了とする。

【注意】
・科目名は分野・領域ごとに異なる
・学位論文作成にかかる要件は、分野ごとに異なる

		共通科目	専門科目		
			講義科目	演習	研究指導科目
		医療福祉に関する高度な学術知識を身に着ける	自らの専門分野における研究の基礎となる知識を修得する	研究に必要なデータの収集・解析技法を修得する	学位に相応しい研究を遂行し、成果をまとめる
1年次	前期	・研究遂行の基礎となる技能を修得する ・研究倫理に関する知識を身に着ける	A:研究・教育の方法 ・研究倫理特論 ・博士課程のための研究法入門 ・教育学概論Ⅰ・Ⅱ ・統計学 ・質的研究法概論 ・英語論文執筆演習 ・医学データ解析入門 など	講義 看護管理・政策学講義、助産学講義、基礎理学療法学講義、作業活動分析学講義、言語障害学講義、視機能療法学講義、福祉支援工学講義、リハビリテーション学講義、医用画像学講義、放射線治療学講義、生殖補助医療胚培養講義、 医療福祉教育・管理学講義、臨床検査学講義災害医療学講義、医療遺伝学講義、医療福祉経営学講義、診療情報管理・分析学講義、介護福祉・ケアマネジメント学講義、医療福祉学講義、臨床心理学講義など		
	後期	D1研究報告会	B:人間・集団 ・疫学概論 ・人口問題と政策 ・臨床心理学概論 ・社会行動科学概論 ・医療福祉における栄養学 など	演習 看護管理・政策学演習、助産学演習、基礎理学療法学演習、作業活動分析学演習、言語障害学演習、視機能療法学演習、福祉支援工学演習、リハビリテーション学演習、医用画像学演習、放射線治療学演習、生殖補助医療胚培養演習、医療福祉教育・管理学演習、臨床検査学演習、災害医療学講義、医療遺伝学演習、医療福祉経営学演習、診療情報管理・分析学演習、ケア理論演習、医療福祉学演習、臨床心理学演習など	
2年次	前期	・研究計画を精査する ・データの収集をする ・データの分析を行う			研究指導Ⅰ 研究課題の明確化、研究計画書作成、データ収集など
	後期	D2研究報告会	C:保健・医療・福祉 ・医学概論 ・最新の医療福祉の動向Ⅰ・Ⅱ ・災害医療論 ・がん医療総論・各論 など		研究指導Ⅱ データ収集・分析、研究の実施・分析など
3年次	前期	・分析したデータをまとめる ・博士論文にまとめる	D:経営と管理 ・医療経済学概論 ・医療福祉政策・管理学概論 ・医療福祉連携論Ⅰ・Ⅱ など		研究指導Ⅲ 論文作成、研究論文作成など
	後期	学位論文申請予定者報告会 学位論文審査 研究発表会	E:情報システム ・医療情報システム概論 ・医療福祉面接記録法		

博士学位論文

学位取得